



耐久高等学校同窓会報

耐久



NO. 49

「紀の国わかやま文化祭2021」

濱口梧陵偉業顕彰シンポジウム

事例発表「受け継がれる梧陵の精神」

令和3年11月5日(金)

# ごあいさつ



同窓会長 大西 義弘 (高16期)

ちやうど

こと思い出す

桜かな 芭蕉

早春の候 同窓会員の皆様には、お健やかに過ごしのことを存じます。

今年の干支は「寅」です。勇猛果敢な虎にあやかり、新型コロナウイルス感染症に負けない年にしたいですね。昨年の9月にはデルタ株が拡大し、予定していた「本部及び有田耐久会常任幹事会」を中止して、議案書を送付し、総会始まって以来の異例の「書面による議決」を実施しました。

11月は、「きのくに学びの月間」であり、同窓会役員が母校を訪れ、各学年の授業を参観しました。昔に比べ難しい内容ながらも、どの学級も落ち着いた授業態度で、一同感心しました。

10月30日から11月21日まで、「紀の国わかやま文化祭二〇二二」が和歌山県内で開催され、その中で、濱口梧陵の偉業を讃える催しがありました。

11月5日の「世界津波の日」に「濱口梧陵偉業顕彰シンポジウム」が、和歌山県民文化会館で開催されました。一人の講師の講演の後、本校の生徒が、これまでの学校の取り組みを発表し、大変感銘を受けました。

さらに、11月14日、新作オペラ「稲むらの火の物語ー梧陵と海舟」が和歌山城ホール（新・市民会館）で上演されました。梧陵と海舟の友情を描き、ジュニアやマスタークラスによる歌声、管弦楽団による素晴らしい演奏、能楽師による舞踊など、オペラを鑑賞したのは初めてでしたが、胸が熱くなりました。

今年、「本校創立170周年」の年です。現在、実行委員会では準備を進めています。記念式典は、令和4年11月3日（木）に開催予定です。皆様にはお誘い合わせて、母校を訪ねてください。

コロナウィルスの日も早い終息を願い、本年も、会員相互の親睦や旧交を温め、さらに「関西・関西・和歌山・有田耐久会」との交流をより深めて、楽しく・魅力ある同窓会となるよう努めて参ります。今後ともご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。挨拶と致します。

## 創立170周年記念事業実行委員会 発足

本校は、来年度令和4年に創立170周年を迎えます。令和3年5月に同窓会役員による第1回準備委員会が開催され、7月の第2回準備委員会を経て、学校・同窓会・PTAによる創立170周年記念事業実行委員会が発足しました。

### □経過報告

・第1回準備委員会

(令和3年5月27日)

実行委員長・副実行委員長決定

・第2回準備委員会

(令和3年7月9日)

実行委員メンバー決定・委嘱

・第1回実行委員会

(令和3年10月26日)

実行委員自己紹介・記念事業・その他について

・第2回実行委員会

(令和3年12月14日)

記念講演講師・式典当日の日程・その他について

### □記念事業の概要

・記念式典

令和4年11月3日（木祝）

記念講演・記念アトラクション

・その他

\*今回は募金（寄付）活動および同窓会名簿の発行は行わないことに決定

### □創立170周年記念事業実行委員会

実行委員長・・・大西義弘（同窓会長）

副実行委員長・・・大西弘之（学校長）

本部同窓会・・・棚野裕明 弓場 守

有田耐久会・・・和泉保廣 山崎佳彦

PTA役員・・・青石元希 井上麻紀子

学校職員・・・亀井真竜（全日制教頭）

顧問(相談役)・・・下野憲英 白井敏之

兵衛和樹 柏原政夫美

竹中滋基（PTA会長）

池永義子 岩岡美紀

三角 治 平畑君子

岩倉宏樹 樫原淳奈

中 啓紀（定時制教頭）

和田 操 永井美弥子

吉松敏隆 西 博義

森 裕美

古川友子 大浦睦美

佐原弘記

楠山京子（事務長）

大藤佐和

| 支部連絡先 | 和歌山耐久会                                                   | 関西耐久会                                                                      | 関東耐久会                                                                                 | 有田耐久会                                                                      |
|-------|----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
|       | 会長 西 博 義<br>〒640-8321 和歌山市岩橋 1690-47<br>Tel 073-475-2677 | 会長 地 引 民 子<br>幹事長 宮 崎 裕 子<br>〒563-0017 大阪府池田市伏尾台 3-8-1<br>Tel 072-753-1219 | 会長 林 紀 男<br>〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-3-12-1002<br>株式会社 オフィス ココ 桜バンケット<br>Tel 03-3359-9520 | 会長 和 泉 保 廣<br>〒643-0004 有田郡湯浅町湯浅 1985<br>耐久高等学校・同窓会事務局<br>Tel 0737-62-4148 |

## 濱口梧陵偉業顕彰シンポジウム

## 「現代(いま)に生きる

## 梧陵の精神」

令和3年10月30日～11月21日まで、「紀の国わかやま文化祭二〇二二」が和歌山県内全域で開催された。

その一環として、和歌山県が誇る世界的偉人「濱口梧陵」の偉業を県内外や海外へ発信するため11月5日の「世界津波の日」に合わせて、和歌山県・広川町主催によるシンポジウムが、和歌山県民文化会館で開催された。今回はウェブによる同時配信も実施された。

当日は、女優・作家・歌手の中江有里氏が「歴史から見える、未来の道」と題して、次に関西大学社会安全学部特任教授・社会安全研究センター長の河田恵昭氏が「濱口梧陵を世界の英雄にする！」をテーマに講演された。休憩の後、「事例発表1」として、本校二年生の一角諭宜さんと岩崎梨好さんが、「受け継がれる梧陵の精神」と題して耐久高校の紹介や取り組みについて発表した。



## 「受け継がれる

## 梧陵さんの偉業」

2年5組 一角 諭宜

濱口梧陵シンポジウムの発表を終えて、僕は濱口梧陵についての知識が深まり、耐久高校生であることに誇りを持ちました。

本番までの練習では、話すスピード、表情などについて先生方や友達からアドバイスをいただきました。特に、ゆっくり明るく話すことを意識し、より伝わりやすく、楽しんでもらえるように工夫できたのがよかったと思います。

また、自分たちで濱口梧陵について調べていく上で、私財をなげうってまで社会貢献に取り組んだことに偉大さを感じました。そして当日、濱口梧陵の偉業や功績を多くの方々に知っていただき、同時に耐久高校の魅力も伝えることができました。

この発表は、耐久高校生である僕たちにしかできないことであり、このような機会をただで嬉しかったです。濱口梧陵のおかげで今の広川町があり、耐久高校があるということを実感しました。僕たちが当たり前のように送っている現在の生活には、濱口梧陵の計り知れない業績が関わっています。その業績をもっと多くの方々に知っていただき、次の世代にも伝えていければと思います。

## 「大切な人の

## 命を守る力」

2年5組 岩崎 梨好

はじめに、耐久高校在校生を代表して濱口梧陵偉業顕彰シンポジウム「現代に生きる梧陵の精神」に参加できたことをうれしく思います。梧陵さんの精神は地域や耐久高校に受け継がれ、防災についての取り組みや授業が行われています。

今回のシンポジウムを通じて、より濱口梧陵氏について学び、また現代でも多くの人々が防災の活動をしているのを知り、私自身、改めて防災意識を高めることができました。今回のシンポジウムに、発表する側で参加したことで、今までの教えてもらう立場から発信する立場へと変化しつつあると感じています。

私は、卒業後、新たな場所です生活を始めたとき、耐久高校生として濱口梧陵さんから学び、得た知識を新しく出会った仲間へ伝えたいと考えています。そして、それが災害時に少しでも多くの大切な人の命を守る力になることを願っています。今回このようなシンポジウムで発表する貴重な機会をいただき、本当に良い経験になりました。ありがとうございました。

## 「シンポにWeb参加して」

関東耐久会会長

林 紀男(高13期)

去る11月5日のシンポジウムにWeb参加をさせていただきました。

当日は、コロナ禍を受けて県境をまたぐ移動は制限されていましたから、濱口翁の偉業についての河田先生のご講演を拝聴するにはWeb参加が最適のアプローチでした。県・町のパンフレットでWeb参加が可能と知り申し込んだ次第です。

お話は、濱口梧陵翁を日本の偉人から世界の英雄にしよう、もっと梧陵翁を知り、学ぼう。そこに「今日の」防災の道がある。こうした大変力強い呼びかけでした。梧陵翁の事績で意外にも周知されていない大切なこと、例えば私財を投じて後の防災につながる築堤事業を進め、一種のニューディール政策を実行したことなど、その先進性・実行力には驚嘆します。尊敬の念を新たにするとともに世に伝えることを誇りをもって進めていきたいと思っています。

なお、時間の都合で本校生お二人の事例発表を聴けなかったのは残念です。

コロナ禍の中で、さまざまにリモート参加の機会が広がってきています。Web講義やZoomミーティング等、私もこうしたものに積極的にアクセスして自己研鑽を心掛けています。

ペットと泊まるログハウスの宿  
パートナーズハウス ゆあざ  
横山 享  
(高14期)  
湯浅町山田山・TEL・FAX 0737-65-3411  
URL: http://www.partnershouse.jp

総合ビルメンテナンス・特定人材派遣  
(株)ウイ・キャン・コーポレーション  
取締役会長 岡 伸彦(高14期)  
代表取締役 岡 勇作(高19期)  
大阪市旭区中宮4丁目14番9号  
TEL 06-6954-0346  
FAX 06-6954-0577

## 小畑産業株式会社

代表取締役 小畑 英三(高18期)

〒640-8033 和歌山市本町3丁目18番地  
TEL 073-423-4148 FAX 073-431-4505  
ei-kobata@kbt.jp

心の健康相談・更年期の健康相談

## 神人クリニック

院長 神人 勉(高18期)

〒732-0053 広島市東区若草町18-46  
TEL 082-261-0600

メールアドレス shirai-t002@wakayama-c.ed.jp



# 令和3年度 耐久高等学校同窓会 本部及び有田耐久会役員会 「書面議決」

2021年秋は、本部及び有田耐久会総会の年でしたが、コロナ禍の状況で安全・安心を第一に考慮し、中止と致しました。総会に代わり、本部及び有田耐久会役員常任幹事会を予定していましたが8月下旬に、新型コロナウイルス感染症が急速に拡大し、再度緊急事態宣言が発令されたため中止しました。常任幹事会で予定していた議案については、議案書を送付し、総会始まって以来の異例の「書面による議決」をお願いしました。

令和元・2年度活動・決算報告・役員改選案、令和3・4年度活動・会計予算案など常任幹事会全員の承諾を得ました。

本部役員改選では、見矢義夫副会長(高21期)、神田公子副会長(高25期)が退任され、副会長に弓場守氏(高30期)、岩岡美紀氏(高28期)が就任されました。

見矢義夫氏、神田公子氏には、役員会、総会、学校訪問、各種行事、会報編集など色々長い間同窓会活動に御尽力いただきました。厚く御礼申し上げます。今後とも母校並びに同窓会活動にご支援、ご協力のほどよろしくお願い致します。

## 令和3・4年度 本部役員名簿

| 役 職  | 氏 名   | 期     | 役 職  | 氏 名   | 期     |
|------|-------|-------|------|-------|-------|
| 会 長  | 大西 義弘 | 高16   | 常任幹事 | 大浦 睦美 | 高28   |
| 副会長  | 棚野 裕明 | 高18   | 常任幹事 | 大西 和彦 | 高29   |
| 副会長  | 池永 義子 | 高21   | 常任幹事 | 新谷 彰  | 高31 新 |
| 副会長  | 岩岡 美紀 | 高28 新 | 常任幹事 | 栗田 佳樹 | 高41 新 |
| 副会長  | 弓場 守  | 高30 新 | 会計監査 | 神田 公子 | 高25 新 |
| 会 計  | 森 裕美  | 高26   | 会計監査 | 森岡 ゆか | 高33   |
| 常任幹事 | 坂本 康寛 | 高18   | 顧 問  | 下野 憲英 | 高13   |
| 常任幹事 | 小畑 英三 | 高18   | 代 表  | 西 博義  | 高19   |
| 常任幹事 | 法眼 貞子 | 高19   | 事務局  | 白井 敏之 | 高34   |
| 常任幹事 | 和泉 保廣 | 高22   | 事務局  | 兵衛 和樹 | 高52   |
| 常任幹事 | 野下 康雄 | 高23   | 事務局  | 和田 操  | 高38 新 |

## 令和3・4年度 有田耐久会役員名簿

| 役 職  | 氏 名   | 期     | 役 職 | 氏 名   | 期   |
|------|-------|-------|-----|-------|-----|
| 会 長  | 和泉 保廣 | 高22   | 事務局 | 古川 友子 | 高26 |
| 副会長  | 山崎 佳彦 | 高22   | 事務局 | 宮井 順子 | 高28 |
| 副会長  | 平畑 君子 | 高22   | 事務局 | 大浦 睦美 | 高28 |
| 副会長  | 三角 治  | 高25   | 顧 問 | 下野 憲英 | 高13 |
| 幹 事  | 鈴木 宏明 | 高28   | 顧 問 | 柏原政夫美 | 高19 |
| 幹 事  | 谷岡 義則 | 高29   | 顧 問 | 吉松 敏隆 | 高19 |
| 幹 事  | 弓場 守  | 高30   |     |       |     |
| 幹 事  | 山田 展生 | 高31   |     |       |     |
| 幹 事  | 栗田 佳樹 | 高41 新 |     |       |     |
| 会計監査 | 生駒 正剛 | 高34   |     |       |     |
| 会計監査 | 柳 実   | 高19   |     |       |     |



## 同 窓 会 活 動 報 告

### 2020 (令和2) 年

6. 15 濱口梧陵生誕200年記念図書贈呈式 (本校)
  - ・ 校長・事務長・学校司書事務局、同窓会本部役員、和歌山・有田耐久会会長
- 22 会報編集委員会 (本校)
- 29 本部及び有田耐久会役員会 (本校)
8. 19 会報編集委員会 (本校)
9. 15 文化祭ウィーク中庭コンサート参加 (本校)
  - ・ 本部役員
9. 17 本部及び有田合同役員会 (本校)
10. 7 「県立高等学校の在り方 (再編整備)」説明会 (有田川町きびドーム)
  - ・ 校長、同窓会長、PTA会長、学校運営協議会会長
- 23 第6回「志学ゼミ」 (本校)
11. 4 会報編集委員会 (本校)
- 11 本部及び有田耐久会役員会 (本校)
- 26 「県立高等学校の在り方再編整備」説明会 (本校)
  - ・ 本校職員、同窓会、PTA、学校運営協議会、湯浅・広川町職員

### 2021 (令和3) 年

1. 27 会報編集委員会 (本校)
2. 9 本部及び有田耐久会役員会 (本校)
- 13 「県立高等学校の在り方 (再編整備)」説明会 (湯浅えき蔵)
  - ・ 本校教職員、同窓会、PTA、地元住民など
- 26 卒業生クラス代表との懇談会 (本校)
3. 1 第73回卒業証書授与式
- 23 耐久高校を支援する会 (本校)
5. 27 本部及び有田耐久会役員会 (本校)
6. 22 会報編集委員会 (本校)
- 30 全国大会出場クラブ激励金贈呈 (本校)
7. 9 本部及び有田耐久会役員会 (本校)
8. 25 会報編集委員会 (本校)
10. 19 第7回「志学ゼミ」 (本校)
- 26 創立170周年第1回実行委員会 (本校)
  - ・ 校長・職員、本部・有田耐久会同窓会役員、PTA役員
11. 9 学校訪問 (本校)
  - ・ 同窓会役員・顧問
- 24 会報編集委員会 (本校)
12. 14 創立170周年第2回実行委員会 (本校)
  - ・ 校長・職員、本部・有田耐久会同窓会役員、PTA役員

|                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                        |                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                           |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  <p><b>橘 爪 正文</b> (高39期)</p> <p>ご予約は<br/>TEL 0737-88-7005<br/>FAX 0737-88-7775<br/>URL <a href="http://www.tatibana.jp">http://www.tatibana.jp</a></p> <p>〒649-0434 有田市宮原町新町17</p> | <p><b>田辺法律事務所</b></p> <p>弁護士 田辺 善彦 (高14期)</p> <p>〒640-8144 和歌山市四番丁26番地の2<br/>TEL 073-431-2801<br/>FAX 073-433-2299</p> | <p>有限会社<br/><b>衣奈不動産鑑定所</b></p> <p>不動産鑑定士 衣奈 伸和 (高18期)</p> <p>〒643-0004 湯浅町湯浅2026-5 豊園ビル<br/>TEL 0737-65-3066<br/>FAX 0737-62-4066</p> | <p>医療法人和会<br/><b>宮井クリニック</b> 宮井 将博 (高34期)</p> <p>(一部予約制) 泌尿器科 一般外科</p> <p><b>TEL 0737-22-3333</b><br/>〒649-0433 和歌山県有田市宮原町須谷533-1</p> <p>診療時間 午前9:00~12:00 午後4:00~6:30 休 診 木、土午後・日・祝日</p> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

◆ 地元、有田耐久会にご入会を！ (お問い合わせは事務局 0737-62-4148)

## 「母校を想った年月」

神田 公子

早朝の湯浅駅、耐久高校生が次々と改札を通り学校へ向かう長い列が続きます。馴染みのある旧駅舎から新しい駅舎へと変わりなく受け継がれている風景、半世紀前の私は広川町から国道をひたすらペダルこぐ女学生でしたが湯浅に住む今、駅が最も活気づくこの朝の賑わいをとても大切に思います。ただ、コロナ禍によりこの風景も一時途絶え、日常が当たり前でないことを思い知らされました。

## 「8年間の思いを込めて…」

見矢 義夫

古希を過ぎた今、来し方の日々を振り返ってみると、なんといっても高校時代のことが走馬燈のように頭の中を駆け巡ってきています。わたしにとって高校時代の3年間は人生の中で最も輝いていた時代だったと思います。その母校で、同窓会役員として8年間、微力ながらも活動させていたことに、今は感謝の念しかありません。

この度、一身上の都合で退任させていただくわけですが、来年度には創立170周年を迎え、記念行事も行われる中で大変心苦しく感じております。

また、会報委員の皆様方には大変お世話になりました。私は、耐久高校同窓会報は『県下一の会報』だと思っています。これからの会員の方々の母校への思いを育む場、お互いの交流の場、絆を深める場としての会報づくりにご尽力いただければ幸いです。

長い間、本当にありがとうございました。

## 「新着任ごあいさつ」

副会長 岩岡 美紀

高校28期の岩岡美紀です。色々な行事を楽しみ、クラブ活動に熱中した高校時代を過ごした耐久。

この度、同窓会の役員として仲間入りさせて頂くことになりました。微力ながらも私に出来ることから頑張るつもりです。よろしくお願いします。

## 「新着任ごあいさつ」

副会長 弓場 守

この度、同窓会副会長を務めさせていただくことになりました高校30期の弓場と申します。もとより各方面でご活躍の同窓生が多数おられる中で、私のような若輩ではと戸惑いもありましたが、どうしてもこのおすめ度、お引き受けいたしました。

前任の見矢様、神田様のような活動はできないかも知れませんが、引き受けた限りは、誠心誠意、同窓会及び母校の発展のため頑張りますので、よろしく願い申し上げます。

## 県立高等学校の在り方（再編整備）について その3

県教育委員会は、今後の生徒数の減少に伴い、高校再編整備についての説明・懇談会を令和3年2月13日に「湯浅えき蔵」で開催し、地元教職員、同窓会、PTA、地元住民など約100名が参加しました。（その時の内容、質問、要望等につきましては、前回の会報48号で掲載しています）その後、コロナ禍のため、動向はありませんでした。

令和3年11月30日、県教育委員会は「県立高等学校の再編整備の基本的な考え方」と「各地域における今後の県立高等学校の在り方」を発表しました。

「基本的な考え方」では、今ある32校を可能な限り存続充実させる。「各地域における今後の在り方」では、有田地域の3校（箕島、有田中央、耐久）は、当面学級数の調整を行いながら存続・充実させ、これまで3校で実施してきた普通科、専門学科、総合学科の教育を提供する高校への再編整備を検討し、段階的に実施する。そして、早ければ、年内にも正式に「再編整備の計画」案を作成し、県民意見募集（パブリックコメント）を実施していくと公表しました。

さらに県教育委員会は令和3年12月23日、県立高校の充実と再編整備に関する「原則と指針」（案）を発表しました。（いずれも県教育委員会のホームページから閲覧できます）

令和4年1月24日まで県民の意見を受け付け、2月県議会を経て、早ければ年度内にも正式に策定する予定です。

今後同窓会は、県教育委員会の動向を見守りながら、母校の存続とさらなる発展を願い、要望していく所存です。会員の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

同窓会長 大西 義弘

(高16期)

各種印刷・紙器・果実包装紙

## 辻本印刷所

〒649-0303 和歌山県有田市新堂208-1  
TEL (0737) 82-4444・82-5400  
FAX (0737) 83-6006



## 丸新本家

7843-0004 有田郡湯浅町湯浅1466-1

http://www.marunouchihonke.com

## 湯浅醤油(有)

7843-0004 有田郡湯浅町湯浅1464

http://www.yuasasyouyu.co.jp

## 祝 創立170周年記念

同窓会本部役員・会報委員会

同窓の情報交換のスペースとして会報を活かしましょう。



# 和歌山県立耐久高等学校 第7回 志学ゼミ

## 1. 目的

社会の様々な分野で活躍されている本校卒業生から、自らの「生き様」や「人や社会との関わり」等についての講話をお聞きするとともに、それに関して生徒が質問や感想等を出し合い、社会の仕組み等について理解や認識を深める。また、現在のキャリアに至るまで積み重ねられてきた努力や葛藤、大切にされていること等をお聞きすることで、生徒が将来への

展望や設計に対して、前向き、具体的に考える契機とする。

2. 日時 令和3年10月19日(火)

13時～15時50分

3. 対象 第1学年

## 4. 概要

- ・約55分間のゼミを生徒をかえて2回実施する。
- ・ゼミは講師先生お一人と約15名の生徒で構成する。
- ・ゼミの内容は上記目的に沿った講師先生の講話と生徒との質疑応答等。
- ・ゼミの進行(司会・記録)はできる限り生徒が行う。

## 志学ゼミ 講師の先生方

【50音順・敬称略】

|    | 氏名           | 卒業年        | 所 属 等                       |
|----|--------------|------------|-----------------------------|
| 1  | 青山 歓生        | S59        | 国立和歌山工業高等専門学校 教授            |
| 2  | 石田 義貴        | H12        | 株式会社フォーラル 代表取締役社長           |
| 3  | 井上信太郎<br>夕佳里 | H22<br>H25 | 紀州田村みかん 善兵衛農園 代表            |
| 4  | 大浦 慶喜        | H7         | 東京海上日動 和歌山支店 インシュアランス・プランナー |
| 5  | 川島 忠弘        | S60        | MS和歌山株式会社 専務執行役員            |
| 6  | 小畑 智哉        | H12        | 株式会社タイランホールディングス 代表取締役社長    |
| 7  | 酒井 雄亮        | H13        | 琴の浦リハビリテーションセンター 理学療法士      |
| 8  | 田中 誠二        | S55        | 株式会社エデュケーションリンクス 代表取締役      |
| 9  | 谷井 康人        | S59        | 谷井農園 代表                     |
| 10 | 中尾 久美        | H30        | 西日本旅客鉄道株式会社 JR和歌山駅 運輸管理係    |
| 11 | 西 博義         | S42        | 稲むらの火の館 名誉館長                |
| 12 | 三角 治         | S48        | 株式会社地域創生 代表取締役              |
| 13 | 山本 琢哉        | H15        | Orange Blue 代表              |



## 「志学ゼミに 参加させて頂いて」

講師 小畑 智哉 (平成12年卒)

有田川町と有田市、海南市で美容室経営をしています株式会社タイランホールディングスの小畑智哉と申します。志学ゼミへは5年前に初めてお声掛け頂き、今回で6度目の参加となりました。耐久高校の卒業生としてお呼び頂けることを光栄に感じ、毎年楽しみに参加させて頂いています。講師というお役目で生徒の皆さんにひとつでも参考になるお話ができればと思い参加していますが、社員を雇用する私にとっても高校生と意見を交わすことができる志学ゼミは、有意義な場だと感じています。

現状を見て次の目標を定めるのではなく、将来の夢や志から今をどう過ごすかを考える方が圧倒的に有意義な高校生活を過ごせると思います。私は高校時代に目的目標を持たず過ごしてきた失敗談から、今の高校生に夢の大切さをお伝えしています。

参加させて頂くこの5年間で感じることは、毎年生徒の皆さんが変化しているということです。それは昔が良かったとか今が悪いではなく、年々価値観や感性が変化しているのだと思います。今の高校生は一人一人の意見や個性を尊厳し認め合うように感じます。今後社会で共存していく私たちに、この使命は、この未来ある皆様の個性を最大限に活かし育むことです。私自身も地元で育ち商いをさせて頂いている者として、そして耐久高校の卒業生の一人として、今後とも学生の皆様の意義ある高校生活に少しでも力添えできればと願っています。

講師 井上信太郎 (平成22年卒)

湯浅町でみかん農家をしている善兵衛農園の井上と申します。2010年に卒業し、現在30歳です。志学ゼミでは、自分のこれまでの経験というんな選択をして今ここにしているということをテーマにお話しました。生徒はみんな真剣に話を聞いて、雑談タイムでもいろいろな質問を投げかけてくれました。その中でも「勉強してなきゃいけないですか?」と聞いてくれた生徒がいました。多分他の生徒の

皆も少なからず思っていることだったと思います。その言葉を率直に伝えられたのがまず素晴らしいなと思いました。私なりの回答としては、「これからいろんな選択(進路)がある。勉強しなければそのたくさんさんの選択肢があることにすら気づかないと思います。だから勉強はしなきゃいけないことではないけど、したほうが将来に選択肢が増えますよ」と言いました。後日、生徒からの手紙が届き、「いろんなことに興味を持とうと思った」「みかんの仕事を知れた」などたくさん感想をいただきました。話に行つてよかったのだとホッとしましたが、ただ、やはり勉強の必要性は実際に社会を経験しないと理解するのは難しいのだろうなというのを感じ、少し悔いが残りました。学内の机上の勉強に加え、地元の仕事や人達と関わり、社会を通して勉強の必要性を体験し学ぶ場を母校と一緒につくることが出来たらと、個人的な想いではありますが、志学ゼミを通して強く思いました。貴重な機会をいただきありがとうございます。ありがとうございました。



語り継ぐ（シンポジウムに参加して）

有田耐久会会長 和泉 保廣（高22期）

中江有里さんは広川町を訪れ、広八幡神社や広村堤防などをめぐり、梧陵の偉大な功績を知り、次の世代に語り継ぐことの大切さを話されました。また、河田恵昭さんは地震はいつ発生するか分からない。大地震の後は逃げることに。発生後、何分でも津波が到達するか知っておくことが重要であると力説されました。このシンポジウムがきっかけで、これまで分からなかったことと二点について河田さんや「稲むらの火の館」の崎山館長の書物から知ることができました。

その一つは、「濱口梧陵は大地震の後、津波が来ることをどのようにして知り得たのか」ということです。広川町は過去、記録にあるだけで8回津波に襲われています。1707年（宝永4年）の地震津波の際、村にあった濱口家の本宅は流されました。宝永津波は歴史的にも特筆される大津波で広村では850戸のうち700戸が流され150戸が損傷を受けました。犠牲者は192人の壮絶な被害でした。そういうことから濱口家では代々大地震の後には津波があるということが伝えられていたと考えられます。梧陵は江戸を中心とした活動の中で一流の人々と交流していたこともあり、幅広い情報も得ていたのでしょう。

もう一つは「梧陵翁が広村堤防建設に私財をなげうった事情」です。堤防構築資金は江戸と銚子にあった店の醤油醸造・販売によって賄われていました。しかし、堤防建設に着工した安政2年2月、同年の10月に大地震が江戸を襲いました。立て直しのために江戸の店に着いた梧陵に番頭は「このままでは店がつぶれます。どうか堤防建設にお金を出すのを中止してください」と切り出します。従業員的生活を守らなければならない。しかし故郷広村を見捨てるのか。江戸の店は再建のめどが立たず、梧陵は銚子の店で必死になって働きました。「何としても堤防を完成させる」。梧陵は決断します。広村出身の者たちも懸命に働き、この年、銚子の店は創業以来、最高の生産高を上げました。そして、約4年にわたる堤防工事は終わったのです。このほかに素晴らしいのは、「津波祭」の取り組みです。梧陵の功績を伝承するため、明治36年以来、毎年実施されています。この祭りには次の世を担う小中学生も参加し、彼らの小さな手で広村堤防に一握りの土を盛っています。

令和2年度予算・決算書

令和2年4月1日～令和3年3月31日

耐久高等学校同窓会

1. 収入の部

|           | 予 算 額     | 決 算 額     | 増 減      | 備 考                         |
|-----------|-----------|-----------|----------|-----------------------------|
| 入 会 金     | 1,020,000 | 955,000   | -65,000  | 全日制 189名*5,000 定時制 4名*2,500 |
| 会 報 広 告   | 100,000   | 70,674    | -29,326  | 会報46・47号広告代                 |
| 会 報 協 賛 金 | 150,000   | 78,890    | -71,110  | 有田・関東耐久会より                  |
| 寄 付 金     | 150,000   | 8,000     | -142,000 | 高14期生より                     |
| 雑 収 入     | 10,000    | 3         | -9,997   | 預金利息                        |
| (収 入 計)   | 1,430,000 | 1,112,567 | -317,433 |                             |
| 前 期 繰 越 金 | 867,658   | 867,658   | 0        |                             |
| (収 入 合 計) | 2,297,658 | 1,980,225 | -317,433 |                             |

2. 支出の部

|           | 予 算 額     | 決 算 額   | 増 減        | 備 考             |
|-----------|-----------|---------|------------|-----------------|
| 1. 運 営 費  | 190,000   | 20,000  | -170,000   |                 |
| 会 議 費     | 20,000    | 0       | -20,000    |                 |
| 渉 外 費     | 30,000    | 20,000  | -10,000    | 有田タイムス広告費       |
| 負 担 金     | 40,000    | 0       | -40,000    |                 |
| 旅 費       | 100,000   | 0       | -100,000   |                 |
| 2. 活 動 費  | 1,620,000 | 395,516 | -1,224,484 |                 |
| 記 念 事 業 費 | 200,000   | 0       | -200,000   |                 |
| 母 校 援 助 費 | 600,000   | 35,887  | -564,113   | 卒業証書筒           |
| 同 窓 会 報 費 | 600,000   | 356,764 | -243,236   | 会報46・47号印刷、郵送代他 |
| 助 成 費     | 150,000   | 0       | -150,000   |                 |
| 雑 費       | 70,000    | 2,865   | -67,135    | 支部郵送代他          |
| 3. 諸 費    | 140,000   | 32,080  | -107,920   |                 |
| 事 務 費     | 40,000    | 12,080  | -27,920    | はがき、切手代他        |
| 慶 弔 費     | 50,000    | 0       | -50,000    |                 |
| 払 戻 金     | 50,000    | 20,000  | -30,000    | 転出生払戻           |
| (支 出 計)   | 1,950,000 | 447,596 | -1,502,404 |                 |
| 4. 繰 出 金  | 202,000   | 195,500 | -6,500     |                 |
| 基 本 金     | 102,000   | 95,500  | -6,500     | きのくに信金定期へ       |
| 同窓会館設立基金  | 100,000   | 100,000 | 0          | ゆう貯定期へ          |
| 5. 予 備 費  | 145,658   | 0       | -145,658   |                 |
| (支 出 合 計) | 2,297,658 | 643,096 | -1,654,562 |                 |

1,980,225 - 643,096 = 1,337,129

次年度へ繰り越し

同窓会会計について

※収入…令和2年度は、入会金として全日制5,000円・定時制2,500円を終身会費として頂いています。（中途転校・退学の場合は返金）他に同窓生各期や個人からの協賛金や寄付金など。

※支出…クラブ支援、国際交流、講演会、会報などの学校援助に直接・間接に還元。卒業後は、同窓生間や母校の情報名簿や会報を通じて提供、各期の同窓会開催に援助、母校の支援、会の運営費ほか。

郵便振替口座の開設について（口座番号）00900-5-298293（口座名称）和歌山県立耐久高等学校同窓会（加入者払込局）湯浅郵便局



## 部活OB・OGたちの絆

### サッカー部の巻

サッカー部は、3年生5名、2年生6名、1年生8名とマネージャー4名の計23名で活動しています。近年、部員の人数が減少しており、一時はプレイヤーが11人そろわずに試合を行う時期もありましたが、自分たちでできるサッカーを続けてきました。私たちのチームは「トップダウン」ではなく「ボトムアップ」を目指し、自分たちには何が問題で、何が必要かを選手たち自身が考え行動に移す取り組みを行っています。人数が少ないことで、練習メニューが限られる。一人一人にかかる負担が大きいなど、不利な点もありますが、人数が少ないからこそ、選手間

同士のコミュニケーションを密にできたり、一人一人に与えられるチャンスの数も多くなっています。

私が部活動を通して生徒に成長してほしいことは、団体競技を行う中で周りを見る力、情報・意見を共有する力です。また、練習を通して自己分析力、問題解決能力も伸ばしてほしいと思います。サッカーが単純に上手になるだけでなく、3年間で人間としても社会に貢献できる、自己実現できる人になってほしいと思います。

3年間という、長そうで短い期間で、仲間とかけがえのない関係性を築き、個人はもちろんチームで成長していきたいと思っています。

顧問 辻井 誠



### 卒業生にエール！

同窓会報47、48号に耐久高校の思い出と題した関東、関西など各地耐久会役員からの寄稿が特集された。授業の一コマ、情熱を傾けたクラブ活動。よき導きを受けた担任や顧問の先生方との出会い。級友とのエピソード。学年1クラス55人の10クラスという圧倒的な存在感。東京オリンピックや大阪万博の言葉も出てきて、あの頃の自分は…と思いを巡らせた。中でも心に残ったのが『晩学のすすめ』の文章。70歳でリタイアされ、さて何かを考えると始めたのが、大

学ゼミで学んだゲーテ「フアウスト」を読むこと。50年ぶりに

## 紡ぐ

### 俳壇・歌壇

・ ゆったりと鳴とじやれる春の波

坂本美恵子(高18期)

・ 絢爛の打掛け飾る秋日和

田辺由美子(高18期)

(令和3年12月御逝去)

・ 重たからたわわのみかん支えつつ

倒れし老木 いとおしき哉

大前真紀(高32期)

・ 旅立ちの朝を迎えて背中押す

がんばれ！の言葉手のひらに込め

仁木 恵(高44期)

### 『編集後記』

昨春秋の第5波のあと鎮静化したと思いきや新種のオミクロン株が席巻し瞬く間に感染者数が増え、第6波に突入しました。和歌山県でも先日、感染者数が過去最多となっています。

コロナ禍で、同窓会の活動も大きく制約され、企画あれど中止の状況が続いています。二年に一度の「本部及び有田耐久会総会」も中止となり、議案は「書面による議決」で承認されました。今回の表紙は、「紀の国わかやま文化祭2021」で「受け継がれる嵯峨の精神」と題して本校の紹介や取り組みを発表した場面です。発表者の感想もご覧下さい。

社会の様々な分野で活躍する先輩からお話を聞く「志学ゼミ」も7回を重ね、定着しています。若い講師先生方の耐久生に向ける期待も掲載しています。コロナ禍の中、クラブ活動もそれぞれ工夫して活動しています。今回の「絆」はサッカー部です。

「県立高校再編」は有田地域の3校は当面、学級数の調整を行いながら存続・充実させるという報告がありました。今後を、見守りたいと思います。とにかく、新型コロナを終息させ日常を取り戻し活発な同窓会活動を再開できること祈っています。

### 訃報

高垣源徳氏(旧中35期)が昨年11月にご逝去(享年98歳)。生前は同窓会のために色々のご尽力いただきました。謹んで御冥福をお祈りいたします。

